

第43回CPD（繊維技術）講演会のご案内

主催：日本技術士会近畿本部 繊維部会

共催：日本繊維技術士センター、日本染色加工同業会

1. 日時：2014年9月26日(金) 13:30～16:30

2. 場所：大阪産業創造館 5F 研修室 A (大阪市中央区本町1-4-5

地下鉄中央線 堺筋本町下車 ①、②出口)

3. 演題および講師：

(1) 演題：「絹を用いた組紐製小口径人工血管の開発」

日本毛織(株) 研究開発センター 産業機材開発室 早乙女 俊樹 氏

〈要旨〉 肢バイパス手術や冠動脈バイパス手術等に必要直径6mm未満の小口径人工血管は、移植後早期に高頻度で血栓形成が生じるため、いまだに実用化されておらず、抗血栓性と必要な力学強度を満たした新しい小口径人工血管の開発が望まれている。これらの課題を克服するため、我々は小口径人工血管の素材として、優れた生体適合性を有する絹フィブロインを用い、特徴的な構造から伸縮性に優れる組紐技術により小口径人工血管を作製することに着目した。本講演では、絹を用いた組紐製小口径人工血管の作製と評価について述べる。

(2) 演題：「染色加工装置の世界的な動向（地球温暖化防止の観点より）」

一般社団法人 日本繊維技術士センター 理事 森本 國宏 氏

〈要旨〉 1985年のG7プラザ合意による急激な円高容認は、日本国内の製造業に大きな支障をきたした。中でも繊維製造関連企業の衰退は未曾有の状況となった。繊維製造と運命を共にしてきた繊維関連機器メーカーの存続にも、その後大きな温度差を生んだ。特に染色機器製造企業は壊滅的な状況に陥り、国内メーカーによる新機種を発表もInk Jet Printer 関係を除いて皆無になり、多くの企業が次々に廃業するなどしながら、既に20数年が経つ。一方、その間に、加工装置は欧州を中心にたゆみなく開発が続けられ、新しい展開を見せている。また、国内の多くの染色企業は、操業を継続するために30数年前に導入した老朽化装置の更新に迫られている。本講演では、最近の欧州発染色関連装置について、特に省エネにスポットを当てながら紹介し、そうした設備更新時のヒントになるよう解説する。

4. 申し込み方法など

(1) 申し込み先 日本繊維技術士センター (JTCC) 本部事務所

Fax: 06-6339-0337 または、

E-mail: jtcc@nifty.com でお申し込みします。

(2) 申し込み期限 9月19日(金)

(3) 参加費用 2,000円 (会場で当日払い)

(4) CPD区分 B-1・2 / 単位 2.75

(5) お問合わせ先 日本繊維技術士センター (JTCC) 本部事務所

TEL: 06-6339-1237

以上